



(禁無断転載)

資格の大原

日商簿記検定

ネット試験模擬問題

3級

(制限時間：1時間)

資格の大原 簿記講座

第1問 (45点)

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適切と思われるものを選ぶこと。

1. 当期初の3年前に取得した備品(取得原価: ¥600,000、残存価額: ゼロ、耐用年数: 5年)を当期首から8カ月使用した時点で売却し、売却代金¥180,000は翌月末に受取ることとした。なお、減価償却の記帳方法は間接法を採用している。また、当期分の減価償却費は月割りで計算する。

ア . 売 掛 金 イ . 未 収 入 金 ウ . 備 品 エ . 備 品 減 価 償 却 累 計 額 オ . 売 上
カ . 備 品 売 却 益 キ . 減 価 償 却 費 ク . 備 品 売 却 損

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				

2. 得意先大阪商店より売掛金¥300,000を現金で回収し、直ちにA銀行の普通預金口座に入金していたが、借方科目を誤って普通預金B銀行として処理していた。本日、それを訂正するための仕訳を行う。

ア . 現 金 イ . 当 座 預 金 ウ . 普 通 預 金 A 銀 行 エ . 普 通 預 金 B 銀 行 オ . 売 掛 金

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
2				

3. 先に大原商店へ掛けで売上げていた商品¥300,000について、品違いのため¥10,000の商品につき返品を受けた。

なお、同店が当社負担の返送にかかる送料¥2,000を立替払いしたため、掛代金から差引くことにした。

ア . 現 金 イ . 売 掛 金 ウ . 貸 倒 引 当 金 エ . 買 掛 金 オ . 売 上
カ . 仕 入 キ . 発 送 費

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
3				

4. 当店の本日の売上高は¥150,000であり、代金のうち¥30,000は他社振出しの小切手で受取り、残額はクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は、クレジット取引高の2%であり商品販売時に認識している。

ア . 現 金 イ . 当 座 預 金 ウ . クレジット売掛金 エ . 売 上 オ . 支 払 手 数 料

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
4				

5. 月末に金庫を実査したところ、紙幣および硬貨¥131,200、当社振出しの小切手¥15,000、他社振出しの小切手¥18,000 が保管されていた。同日の現金出納帳残高は¥184,000 であった。差額については原因不明であったため、現金過不足勘定で処理する。

ア . 現 金 イ . 現金過不足 ウ . 受取手形 エ . 雑 益 オ . 雑 損

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
5				

6. 消費税¥105,300 を現金にて納付した。なお、消費税の記帳は税抜方式によっている。

ア . 現 金 イ . 当座預金 ウ . 仮払消費税 エ . 仮受消費税 オ . 未払消費税

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
6				

7. 千葉商店に対する貸付金¥600,000 を、3 カ月分の利息とともに、同店振出しの小切手で受取り、ただちに当座預金に預入れた。なお、利息は年利 3%である。

ア . 現 金 イ . 当座預金 ウ . 貸付金 エ . 受取利息 オ . 支払利息

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
7				

8. 店舗の窓ガラスが破損したため取替えを行い、その費用¥25,000 が普通預金口座より引落された。また、店舗を耐震構造に改築するための支出額¥3,000,000 を小切手振出しにより支払った。

ア . 当座預金 イ . 普通預金 ウ . 建 物 エ . 備 品 オ . 減価償却累計額
カ . 減価償却費 キ . 修 繕 費

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
8				

9. 下記、決算整理後残高試算表の各勘定残高を損益勘定に振替える仕訳を行いなさい。

仕入 ¥288,000 給料 ¥130,000

ア . 売 上 イ . 仕 入 ウ . 給 料 エ . 損 益 オ . 繰越利益剰余金

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
9				

10. 従業員へ当月分の給料¥800,000 の支払いにあたり、従業員負担の社会保険料¥75,000 と源泉徴収所得税¥56,000 を差引いた残額を当社の普通預金口座より各従業員の指定口座へ振込んだ。

ア . 当 座 預 金 イ . 普 通 預 金 ウ . 社会保険料預り金 エ . 所得税預り金 オ . 給 料
カ . 法定福利費 キ . 租 税 公 課

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
10				

11. オフィスで使用する机・椅子¥300,000 が到着した。代金は翌月末日に支払う契約である。なお、購入に要した引取運賃（当社負担）¥2,000 は着払いとなっているため、現金で支払った。

ア . 現 金 イ . 当 座 預 金 ウ . 備 品 エ . 車 両 運 搬 具 オ . 未 払 金
カ . 未 払 消 費 税 キ . 発 送 費

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
11				

12. 得意先へ商品 300 個を¥420,000（本体価格）で売上げ、消費税として 10%分の金額を加算した代金の 40%分は同店振出しの小切手で受取り、残額は翌月末に受取ることとした。なお、消費税は税抜方式にて処理すること。

ア . 現 金 イ . 売 掛 金 ウ . 仮 払 消 費 税 エ . 買 掛 金 オ . 仮 受 消 費 税
カ . 売 上 キ . 仕 入

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
12				

13. A社に対する売掛金¥49,000 について取引銀行を通じて発生記録の請求を行い、電子記録にかかる債権が生じた。

ア . 当 座 預 金 イ . 売 掛 金 ウ . 電 子 記 録 債 権 エ . 買 掛 金 オ . 電 子 記 録 債 務

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
13				

14. 得意先が倒産し、売掛金¥74,000 が回収不能となった。商品注文時に受取っていた¥14,000 の手付金と相殺するとともに、残額は貸倒れとして処理する。なお、残額のうち¥20,000 は当期に販売した商品にかかる売掛金であり、貸倒引当金勘定の残高は¥45,000 であった。

ア . 売 掛 金 イ . 前 払 金 ウ . 買 掛 金 エ . 前 受 金 オ . 貸 倒 引 当 金
カ . 償 却 債 権 取 立 益 キ . 貸 倒 引 当 金 繰 入 ク . 貸 倒 損 失

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
14				

15. 出張旅費を自費で立替払いしている従業員が出張から帰社したため、代金を現金で手渡した。なお、出張旅費に関する領収書は次のとおりである。

	領 収 書	XX年 11月 15日
大原株式会社 様	¥ 18,900	
但し 旅客運賃として 上記金額を正に領収いたしました。		

ア . 現 金 イ . 従 業 員 立 替 金 ウ . 未 払 金 エ . 給 料 オ . 旅 費 交 通 費

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
15				

第2問 (20点)

問1 (10点)

以下の固定資産台帳にもとづいて、各勘定の空欄に適切な金額または語句を記入しなさい。なお、当期は、X5年4月1日からX6年3月31日までの1年間である。

固定資産台帳

X6年3月31日現在

取得年月日	名称等	期末数量	耐用年数	期首(期中取得)取得原価	期首減価償却累計額	差引期首(期中取得)帳簿価額	当期減価償却費
X3年4月1日	備品甲	5	10	200,000	40,000	160,000	20,000
X4年12月1日	備品乙	2	8	480,000	20,000	460,000	60,000
X5年10月5日	備品丙	3	5	600,000	0	600,000	54,000
小計				1,280,000	60,000	1,220,000	134,000

備品

X5	4	1	前期繰越	()	X6	3	31	()	()
	10	5	当座預金	()					
				()					()

備品減価償却累計額

X6	3	31	次期繰越	()	X5	4	1	前期繰越	60,000
				()	X6	3	31	減価償却費	()
				()					()

減価償却費

X6	3	31	()	()	X6	3	31	()	()
----	---	----	-----	-----	----	---	----	-----	-----

問2 (10点)

10月中の商品Xの売買に関する〈資料〉にもとづいて、商品有高帳を完成させなさい。ただし、7日の返品は受入高欄に記入し、締切りは不要である。また、商品有高帳の残高欄は受入直前の残高を再度記入しない方法で記帳する。なお、当社では商品払出単価の計算は先入先出法により行っている。

〈資料〉

- 1日 前月繰越額 商品X ¥36,000 (200個 @¥180)
- 5日 仕入先東京商店より、商品X500個を@¥185にて仕入れ、代金は掛とした。なお、東京商店から仕入れる商品については、契約により引取運賃は生じない。
- 7日 5日に仕入れた商品のうち、50個を品違いのため返品した。
- 12日 得意先横浜商店へ、商品X300個を@¥270で売上げ、代金は掛とした。
- 16日 仕入先池袋商店より、商品X400個を@¥180(購入代価)にて仕入れ、代金は掛とした。なお、引取運賃¥1,600は現金で支払った。
- 28日 得意先横浜商店へ、商品X450個を@¥265で売上げ、代金は掛とした。

商 品 有 高 帳

先入先出法

商 品 X

(数量単位：個、金額単位：円)

×年	摘要	受 入 高			払 出 高			残 高		
		数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額	数量	単 価	金 額
10	1 前月繰越	200	180	36,000				{ 200	180	36,000
	5 仕 入	()	()	()				{ ()	()	()
	7 仕入返品	()	()	()				{ ()	()	()
								{ ()	()	()
	12 売 上				{ ()	()	()			
					{ ()	()	()	{ ()	()	()
	16 仕 入	()	()	()				{ ()	()	()
	28 売 上				{ ()	()	()			
					{ ()	()	()	{ ()	()	()

第3問 (35点)

下記の資料にもとづいて、損益計算書および貸借対照表を完成しなさい。なお、会計期間はX5年4月1日からX6年3月31日までの1年である。

(A) X6年3月31日現在の決算整理前残高試算表

	借	方	貸	方
現金	¥	200,000		
現金過不足		74,000		
当座預金		670,000		
受取手形		789,000		
売掛金		747,000		
繰越商品		270,000		
仮払法人税等		133,035		
貸付金		1,260,000		
建物		3,400,000		
土地		2,600,000		
支払手形			¥	720,000
買掛金				927,000
貸倒引当金				14,000
減価償却累計額				924,000
資本金				6,000,000
繰越利益剰余金				369,835
売上				11,880,000
受取家賃				646,000
受取利息				17,800
仕入		9,486,000		
給料		1,358,800		
水道光熱費		402,800		
保険料		108,000		
	¥	<u>21,498,635</u>	¥	<u>21,498,635</u>

(B) 決算日までに判明した未処理事項等

1. 当期に販売した商品（原価¥28,800、売価¥36,000）が決算直前に返品されていたが未記帳であった。なお、この代金は売掛金と相殺する。
2. 現金過不足の原因について調査した結果、受取手数料¥19,800の記帳が漏れていたこと、買掛金¥210,000を支払ったさいに¥120,000と誤記入していたことが判明した。なお、残額は原因不明のため、雑損または雑益として処理する。

(C) 決算整理事項等

1. 期末商品棚卸高は¥234,000である。なお、ここに上記(B)1で返品された商品の金額は含まれていない。
2. 受取手形および売掛金の期末残高に対して2%の貸倒れを実績法により見積る。なお、差額補充法によること。
3. 建物について定額法により減価償却を行う（耐用年数30年、残存価額は取得原価の10%）。なお、建物のうち¥1,200,000は、X6年1月1日に取得したものであり、減価償却は月割計算（耐用年数30年、残存価額ゼロ）で行うこと。
4. 保険料はX5年7月1日に向こう1年分を支払ったものである。
5. 給料の未払額は¥23,000である。
6. 未収利息¥7,400を計上する。
7. 法人税、住民税及び事業税が¥267,120と計算されたので仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

損 益 計 算 書

×5年4月1日から×6年3月31日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	()	売 上 高	()
給 料	()	()	()
水 道 光 熱 費	402,800	受 取 家 賃	646,000
保 険 料	()	受 取 利 息	()
貸倒引当金繰入	()		
減 価 償 却 費	()		
()	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純()	()		
	()		()

貸 借 対 照 表

×6年3月31日現在

(単位：円)

資 産	金 額	負 債 ・ 純 資 産	金 額
現 金	()	支 払 手 形	()
当 座 預 金	()	買 掛 金	()
受 取 手 形	()	未 払 費 用	()
売 掛 金	()	未 払 法 人 税 等	()
()	()	資 本 金	6,000,000
商 品	()	()	()
前 払 費 用	()		
未 収 収 益	()		
貸 付 金	1,260,000		
建 物	()		
減 価 償 却 累 計 額	()		
土 地	2,600,000		
	()		()

ネット試験模擬問題 模範解答

(禁無断転載)

第1問 (45点)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	エ キ イ	360,000 80,000 180,000	ウ カ	600,000 20,000
2	ウ	300,000	エ	300,000
3	オ キ	10,000 2,000	イ	12,000
4	ア ウ オ	30,000 117,600 2,400	エ	150,000
5	イ	34,800	ア	34,800
6	オ	105,300	ア	105,300
7	イ	604,500	ウ エ	600,000 4,500
8	キ ウ	25,000 3,000,000	イ ア	25,000 3,000,000
9	エ	418,000	イ ウ	288,000 130,000
10	オ	800,000	ウ エ イ	75,000 56,000 669,000

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
11	ウ	302,000	オ	300,000
			ア	2,000
12	ア	184,800	カ	420,000
	イ	277,200	オ	42,000
13	ウ	49,000	イ	49,000
14	エ	14,000	ア	74,000
	ク	20,000		
	オ	40,000		
15	オ	18,900	ア	18,900

仕訳1つにつき3点。合計45点。

第2問 (20点)

問1 (10点)

備 品

×5	4	1	前 期 繰 越	(680,000)	×6	3	31	(次 期 繰 越)	(1,280,000)
	10	5	当 座 預 金	(600,000)					
				(1,280,000)					(1,280,000)

備品減価償却累計額

×6	3	31	次 期 繰 越	(194,000)	×5	4	1	前 期 繰 越	60,000
					×6	3	31	減 価 償 却 費	(134,000)
				(194,000)					(194,000)

減 価 償 却 費

×6	3	31	(備品減価償却累計額)	(134,000)	×6	3	31	(損 益)	(134,000)
----	---	----	-------------	-------------	----	---	----	-------	-------------

1つにつき2点。合計10点。

問2 (10点)

商 品 有 高 帳

先入先出法

商 品 X

(数量単位：個、金額単位：円)

× 年	摘 要	受 入 高			払 出 高			残 高		
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
10	1 前月繰越	200	180	36,000				200	180	36,000
	5 仕 入	(500)	(185)	(92,500)				(500)	(185)	(92,500)
	7 仕入返品	(50)	(185)	(9,250)				(200)	(180)	(36,000)
								(450)	(185)	(83,250)
	12 売 上				(200)	(180)	(36,000)			
					(100)	(185)	(18,500)	(350)	(185)	(64,750)
	16 仕 入	(400)	(184)	(73,600)				(400)	(184)	(73,600)
	28 売 上				(350)	(185)	(64,750)			
					(100)	(184)	(18,400)	(300)	(184)	(55,200)

1つにつき2点。合計10点。

第3問 (35点)

損益計算書

×5年4月1日から×6年3月31日まで

(単位：円)

費用	金額	収益	金額
売上原価	(9,493,200)	売上高	(11,844,000)
給料	(1,381,800)	(受取手数料)	(19,800)
水道光熱費	402,800	受取家賃	646,000
保険料	(81,000)	受取利息	(25,200)
貸倒引当金繰入	(16,000)		
減価償却費	(76,000)		
(雑損)	(3,800)		
法人税、住民税及び事業税	(267,120)		
当期純(利益)	(813,280)		
	(12,535,000)		(12,535,000)

貸借対照表

×6年3月31日現在

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金	(200,000)	支払手形	(720,000)
当座預金	(670,000)	買掛金	(837,000)
受取手形	(789,000)	未払費用	(23,000)
売掛金	(711,000)	未払法人税等	(134,085)
(貸倒引当金)	(30,000) (1,470,000)	資本金	6,000,000
商品	(262,800)	(繰越利益剰余金)	(1,183,115)
前払費用	(27,000)		
未収収益	(7,400)		
貸付金	1,260,000		
建物	(3,400,000)		
減価償却累計額	(1,000,000) (2,400,000)		
土地	2,600,000		
	(8,897,200)		(8,897,200)

1つにつき2点。1つにつき3点。合計35点。